

わたしたちの鹿児島、 わたしたちで守ろう。

Let's protect Kagoshima's native species by ourselves.

》 外来種から鹿児島県の生物多様性を守るために

鹿児島県は南北 600km にも及ぶ県土や 3 つの気候帯を有しています。また、渡瀬線を挟んだ 2 つの生物地理区に属しており、鹿児島県の多くの島々には、固有種、希少種が生息・生育し、独特な生態系が存在します。このため、動植物が持ち込まれることで、生態系に影響を及ぼす侵略的外来種となる場合があります。

世界自然遺産である屋久島や奄美大島及び徳之島でも、外来種が野生化し定着することで、生態系への被害やそのおそれが生じています。

これらのことを十分に理解し、安易に県内へ動植物を持ち込むことのないようにしましょう。

外来種被害予防3原則

入れない

悪影響を及ぼすおそれのある
外来種を自然分布域から
非分布域へ「入れない」。



捨てない

飼養・栽培している
外来種を適切に管理し、
「捨てない」。



拡げない

既に野外にいる外来種を
他地域に「拡げない」。



外来種 シシツバキアカミミガメ(ミドリガメ)



外来種 アメリカハマグルマ

》 外来種は悪者なの？

外来種は、意図的又は非意図的に自然分布域外に持ち込まれた生物です。被害を受ける在来種同様、生態系や人の生活環境への被害を防止するために防除される侵略的外来種もまた「被害者」です。そのことを理解し、自らが新たな外来種問題の原因者とならないよう十分に気をつけましょう。

本県の外来種の詳しい情報については！ 鹿児島県 外来種

検索

鹿児島県の外来種の詳しい情報については、鹿児島県のホームページをご覧ください。

URL <https://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/kankyo/yasei/gairai/index.html>



鹿児島県にお住まいの方向け

カムルチー 防除マニュアル

カムルチーは鹿児島県に影響を及ぼしており、遺棄・導入・逸出防止等のための重点的な普及啓発が必要な種とする「重点啓発種」として選定されています。

また、「指定外来動植物による鹿児島県の生態系に係る被害の防止に関する条例」に基づき、指定外来動植物に指定されています。

わたしたちの鹿児島、 わたしたちで守ろう。

Let's protect Kagoshima's native species by ourselves.



カムルチーってこんな生き物

カムルチー

学名： *Channa argus*

科名：タイワンドジョウ科

▶ 東アジア（中国、朝鮮半島）

分布：江内川・川内川水系とその周辺の河川
蘭牟田池

鹿児島県カテゴリー：重点啓発種

※県の条例に基づく指定外来動植物

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
活動												
釣り												



形態

全長70～80cmに達する大型魚です。体は細く、円筒型、頭はヘビに似ています。口裂は目の後ろに達します。側線は肩部から尾部まで連続しており、胸びれ付近で背の方へ折れ曲っており、背びれ、尻びれの基底部は大変長いです。背面は緑褐色で腹面は白いです。体側には2～3列に並ぶ円形から菱形の暗色斑があります。

生態

魚類、甲殻類、カエル類、昆虫類等を食べます。

繁殖

産卵期は5～8月で、イネ科植物が水面を覆う場所などに、親魚が直径1mほどの空間を作り浮遊卵を産みます。体内卵数は数万粒に達することがあります。親魚が卵・稚仔魚を保護します。

カムルチーによる影響

魚類、両生類、淡水生無脊椎動物などの在来生物を捕食しています。

カムルチーの防除方法

ここを
チェック!

主な生息地

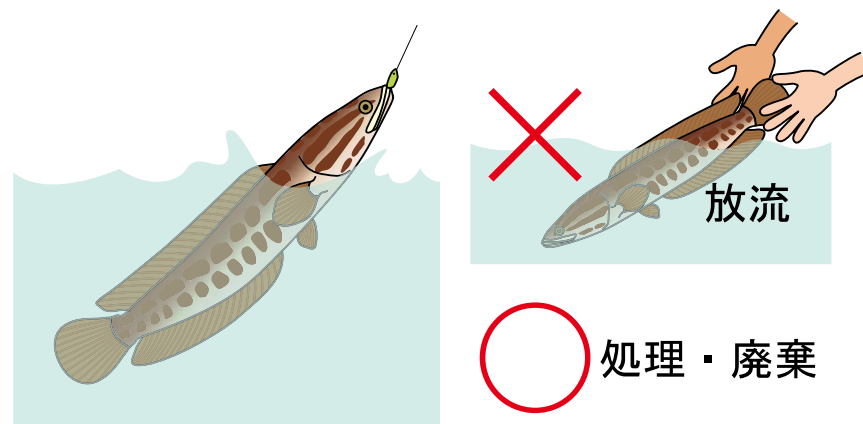
流れの緩い河川や湖沼、用水路等に生息し、抽水植物や水草が繁茂した場所を好みます。貧酸素水域にも耐性があります。

釣り

時期 ● 1年中

防除方法

鹿児島県内で分布が確認されている蘭牟田池では、近年、減少傾向にありますが、魚釣りで捕獲したカムルチーは放流せずに、適切に処理・廃棄してください。



放流

処理・廃棄

廃棄方法

ビニール袋に入れて冷凍した後、土に埋めるなどして廃棄しましょう。また、一般廃棄物として燃えるゴミに出しても良いです。
※詳しくは各自治体のゴミの収集・分別ルールをご確認ください。

根絶までの流れ

1回の防除での根絶は難しいため、定期的に防除を実施するようにしましょう。

今後の取り扱い

現在、鑑賞用等で飼育している場合は、最後まで責任をもって飼い続け、途中で捨てないようにしましょう。